



平成 25 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司
 (コード番号: 東証JASDAQ2134)
 問 合 先 取締役 経営管理本部 本部長 桐島 悠爾
 (TEL. 06-6205-5611)
 U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

平成26年3月期 第2四半期決算に関する補足説明に関するお知らせ

平成26年3月期 第2四半期決算(平成25年4月1日～平成25年9月30日)につきまして、下記のとおり補足説明致します。

記

《平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 について》

当社グループの平成26年3月期 第2四半期の連結業績は、売上高211百万円(前年同四半期比67.4%減)、営業損失33百万円(前年同四半期は166百万円の営業損失)、経常損失55百万円(前年同四半期は169百万円の経常損失)、四半期純利益43百万円(前年同四半期は437百万円の四半期純損失)となりました。

(単位:百万円)

	平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期 実 績	平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期 実 績	前 年 同 四 半 期 比 (%)
売 上 高	649	211	▲67.4
営 業 利 益	▲166	▲33	—
経 常 利 益	▲169	▲55	—
四 半 期 純 利 益	▲437	43	—
1 株 当 た り 利 益 (円)	▲73.95	7.10	—

(コメント)

- ① 売上高につきましては、上期に予定していた案件が下期に期ズレしたこと、前期に事業のリストラチャリングの一環として、連結子会社を2社(燦アセットマネージメント株式会社(現 サムティアセットマネジメント株式会社)、株式会社グランドホテル松任(現 株式会社グランドホテル白山))を売却したこと等の要因により、前年同四半期期と比べ、67.4%減少しております。なお、このように案件の期ズレにより、収益実現時期が期間損益に少なからず影響するため、当社は第2四半期連結累計期間の業績予想は開示しておりません。
- ② 一方、営業利益、経常利益につきましては、上期予定案件の期ズレ等があり、引き続き赤字を計上しておりますが、当該連結子会社の売却、役員報酬等の削減、業務効率化・契約条件見直しによるコストの削減等により、赤字幅は改善してきております。



- ③ なお、四半期純利益につきましては、投資先(株式会社エスシステム)の特別清算手続きにおける協定の認可決定が裁判所よりなされたので、過年度に保守的な見地より引当ておりました同社向け貸倒引当金の取り崩し、及び同事業損失引当金の戻入りを達成しております。その結果、営業外収益(11百万円)及び特別利益(103百万円)を計上しております。なお、前期に事業のリストラチャリングの結果、保有不動産の減損損失、子会社株式売却損等の多額の損失を計上し、また、保守的な見地から、投資先の債権等に対して十分な引当金を計上したことに対し、今期におきましてはそのような特別な要因は現在生じておらず、大幅な営業外損失又は特別損失の発生の見込みはございません。

《資金調達の見越について》

平成25年8月14日に決議致しました第三者割当による新株式(金銭出資及び現物出資(デット・エクイティ・スワップ))並びに第3回新株予約権の発行及び行使により、以下のとおり確実に資金の調達を達成しております。

本資金調達につきましては、当社株式の希薄化が生じておりますが、間接金融から調達が困難であった当社の実情に鑑みれば、唯一の資金調達方法でありました。調達した資金については、順次収益事業に投資しており、今後収益を実現し、株主価値の向上を志向する所存でございます。

(単位:百万円)

資金調達額	金額
新株式発行による調達(平成25年8月30日現在)	124
内、現物出資	▲94
第3回新株予約権の行使による調達(平成25年10月31日現在)	94
合計(現物出資によるものは除く)	123

※本日現在(平成25年11月14日)新株予約権行使により、さらに34百万円調達しております。なお、新株予約権の行使による調達可能残額は、64百万円でございます。

《債務超過の解消について》

当社は、前期(平成25年3月期(第21期))決算において、債務超過(自己資本▲101百万円)となっておりますが、上記資金調達を確実に実現したこと等により、平成25年9月30日現在、自己資本66百万円であり、その後新株予約権の行使が順調に推移し、同10月31日現在、自己資本152百万円となっており、債務超過を解消しております。



《平成26年3月期 連結業績予想》

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
通 期	672	182	133	108	円 銭 15 14

(コメント)

- ① 下期において、上期から期ズレしました業務提携先との不動産流動化(売却)案件、新規案件(小規模太陽光発電システム分譲販売事業)及び各種仲介事業による収益獲得を予定しており、通期の業績予想は据え置きとしております。
- ② 今回、債務超過を解消したこと、さらに今後の資金調達の状況如何によっては、さらなる収益機会の獲得が期待できます。この点については、確定し次第、直ちに開示いたします。

上記のとおり、前期において、資産の部のいわゆる『膿出し』も終わり、投資先債権への引当解消等、未解決事項も解決したことで、営業以外の事象により損失が計上される要因が一掃されております。また、外部環境に鑑み、絶好のタイミングで資金調達を講じたことにより、今後は本来の営業により生み出された収益がそのまま財務諸表へと反映されるフェーズへと回帰しております。

なお、現在、今後の展開を踏まえた事業計画について、策定作業に取り掛かっております。策定次第、速やかに開示させて頂く予定でございます。

以 上

※本資料に掲載されている業績予想および業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。